

ゴーゴーチャレンジ



第33号



1. しっばいしても まわりみちしても なかまがいるから だいじょうぶ

ホッフ ステップ ジャンプ!

いせいこう!
だ

次は全国合研!!

プレ合研 大成功!!

成功させよう!!



コロナに負けず

600名を超える皆さま ご参加ありがとうございました。



記念講演

「遊べ!子どもたち ~それが子どもの権利だ!~」

増山 均 氏

日本子どもを守る会会長・早稲田大学名誉教授

~こんなお話でした~

コロナ禍ですが、子どもは密で育てるもの! 子どもの今は、今しかない。子どもの期間(時代)が奪われている。コロナ期から5年後あたりにさまざまな問題を引き起こすであろう。

「あそびと遊び」の違いを教えてくださいました。子どもの生活と発達を「6つの権利」で総合的に保障することが保育であると言われていました。

増山先生のお話では、子どもの「あそび」が保障されない現状がいかにか危機状況かという事を知りました。コロナ禍で子どもの権利条約を守る為に何が出来るか自分なりに考えてみようと思います。



子どもは、名前もない「あそび」が重要。でも、マスクをしていたら表情がわかりずらく、子どもの発達が奪われ、子どもの大切な時期を奪っている。子どもから出てくるものを察知して遊ばされる遊びではなく、本当の遊びを工夫してやっていきたいと思いました。

全国でコロナ感染が拡大し、今日から広島も緊急事態宣言が発令となり、増々我慢しなければいけなくなりました。コロナ禍でも、出来る事を子どもと見つけて遊ぶことを止めない事が大切だとわかりました。

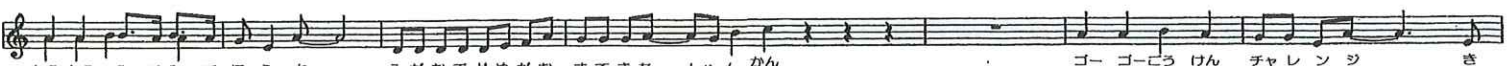
日々 感染予防の対策を取りながらの保育。先生方には、本当に感謝しています。

自宅からzoomで家事をしながら気軽に聞けたよ😊

みんなコロナ生活でストレスを感じている。子どもの権利条約「6つの権利・6つの育」の保障を考えながら大人も子どもと一緒に遊び、子どもと一緒に自分たちで考え見つけていける時間を大切にしていきたいです。



苦難の中でも「コロナだからできないと諦めるのではなくどうやったら出来るか、何が出来るかを考える」とても大変な事だけど、子どもたちの為にも先生と保護者、保護者と保護者との関わりにとっても大切なことだと改めて感じました。



ねえねえ みてみて ほらね えがおでやが おすてきな しゅん かん ゴー ゴーろ けん チャレンジ き



「へいわってなあに」
新しい歌も
生まれたよ!

各地からの「レポート〜ク!!



第2回プレ合研



石川幸枝さん
(コーディネーター/全保連)
保育ビジョンは本当に保護者の要望か?
子どもや保護者の為になるのか?
皆で学習していきましょう。

前田慶彦さん
(全体司会/広島市公立保育士)
「少しづつ動画や歌ができてきて感動
しました!」「元気に楽しく、コロナ禍で
できることは何だ?と考える全国合研
までゴーゴーチャレンジで進みます!」

川元 盛樹
(岡山 あゆみ保育園)
コロナの為、保護者会で集ま
れなくなり親が社会的に孤立し
ている。今後Webで役員会をし
て繋がろうと思う。

齋藤 譲
(山口 こぐま保育園)
自治体によって保育の支援
が違う。権利や自由は、与えら
れるものではない。主張や要求、
交渉を継続して声を上げる活動
をして行きましょう。

他園の保護者会での工夫
など、もっと聞いてみたい!

野々村 静香
(島根 おおつ保育園)
7月の夏祭り1月のわくわく
祭りを中止するのではなく、何
が出来たかを考えて合体して
保護者とともに考えていった。

藤原 明典
(福山 東深津保育所)
昨年、自粛期間子どもが半分になり、
ゆったり保育できた。保育士のゆとりも、感
じた。子どもの人数、職員配置、これこそ
本当の基準だと実感した。感染の恐ろしさを
ただでなくこういう長年の問題を実証する
機会にもなった。国に訴えるいい機会。組
合で初めて保育署名を大きな公園で取組3
00筆集め、福山市と懇談も行った。



コロナ禍でのたくましい保護者の
姿に心からエールを!

横田 小百合
(広島市公立保育園 園長)
園では、健康チェック、時差出
勤、遊具の消毒等、感染対策
をし、行事の見直しをして国立
感染症の情報を共有しながら
保育をしている。

畑野 強
(広島市職労 保育園支部)
広島市保育ビジョンの問題
点、乳幼児減少を予想して、
園の統廃合を進めているが、
園がなくなることにより、災害
機能の低下や地域の過疎化
が進む。保育ビジョンは白紙
撤回の運動を広げたい。

國狭 知世
(呉 あゆみ保育園)
自粛期間は担任から電話があり、遊
びのアドバイスや長い人は一時間話を
聞いてもらう人もいた。クラスライン
もあり、ストレスため込まず過ごせ
たのはまわりに支え合う人がいたから。
今は、保育園では、色々な事を経験させ
てもらってのびのび育っている。

石井 由香利
(鳥取の保育を考える会)
私立保育園|施設でクラスター
発生。感染予防対策で補助金
20万円がおりた。行事を見直
し、DVD配信や、入れ替えをしな
がらの行事を行いました。2020
年12月に県と懇談を行った。

これからもみんなで保育運
動を続けていこう!

コロナ禍で中止を前提で
なく、出来ることを頑張っ
てやっていきましょう!

2021年5月16日(日)に、第2回プレ合研をなんとか無事に終了しました。
600名を超える全国(広島・岡山・山口・島根・鳥取・福岡・徳島・兵庫・大阪・京都・愛知・静岡・東京・埼玉・群馬・
岩手他)のみなさまと繋がることができ感動しました。

前回同様に今回も新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令直後の開催でしたので、多くの方々に、団
体参加から急遽個人参加に切り替える作業をしていただき、甚大なご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ござい
ませんでした。事務局メンバーも夜通し対応しました。これは「コロナ禍でも全国合研を開催する」ためのよいリハー
サルと捉え、実行可能性を勘案する覚悟ができたと思います。

第2回プレ合研開催にあたり、全国から励ましのメッセージをいただきました。これもひとえに、広島県の実行委員会
のみなさんが、試行錯誤しながら創意工夫し、素晴らしいチームワークがあるからこそぞだと思います。実行委員会のみ
なさんに心から感謝します。

新型コロナウイルス変異株も予断を許さぬ現状ですが、どうか、お一人お一人が健康に留意
されまして、1日1日を大切にお過ごしください。そして、第53回全国合研がどのような形式であ
っても開催できるということを心より願っています。

第53回全国保育団体合同研究集会(広島)開催地実行委員長 村上真理



広島も緊急事態宣言が発令となった中でのやり切ったプレ合研!次につけ ホップステップ ジャンプ!
感想や、ご意見は、保育センターまで! TEL: 082-247-1865 FAX: 082-247-1870